15 登米（とよま）

（宮城県登米（とめ）市）

注目 ポイント ！

○ 明治の建造物を活かして街全体に明治の香りを醸し出す。

○ CM、テレビ等の舞台にも取り上げられ広範囲に街をPR。

観光施設への入込客数が約67,000人から約73,000人に！
（平成12年）　（平成17年）

教育資料館（旧登米高等尋常小学校）

◇◇ コラム ◇◇

明治の建物が多く残る旧登米町は、テレビCMやテレビの人気アニメ等の舞台に取り上げられ、多くの観光客が訪れるようになった。特に近年は、南三陸の観光コースの一つとして注目されるようになり、修学旅行、小・中学校の校外学習など団体旅行客の増加が目立っている。

今後は街並みの整備等、より一層明治のまちづくりが進められる予定。

（株）とよま振興公社
登米町歴史資料館館長
高橋　洋氏

これまでの経緯

昭和56年（1981）	旧登米高等尋常小学校1号校舎、国の重要文化財に指定される。
昭和60年（1985）	北上川沿川の4町（登米町・東和町・中田町・津山町）で、広域的かつ総合的な地域振興を図るため、みやぎ北上連邦を建国する。 「とよま玄昌石（株）」を設立する。
昭和62年（1987）	警察資料館、玄昌石の館、壹番館が開館する。 旧登米高等尋常小学校校舎修復工事始まる。
平成 元年（1989）	懐古館増築工事が完了する。 旧登米高等尋常小学校修復工事が落成する。
平成　3年（1991）	教育資料館・水沢県庁記念館がオープンする。
平成　7年（1995）	とよま玄昌石（株）を「株式会社とよま振興公社」に社名を変更する。
平成　8年（1996）	伝統芸能館「森舞台」がオープンする。
平成　9年（1997）	（株）とよま振興公社が町の観光施設などの管理運営業務を開始する。
平成12年（2000）	観光物産センター「遠山之里」オープンする。
平成17年（2005）	登米町閉町。登米市が誕生する。

※当該地域は「わたしの旅100選」（平成17年）として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

明治の香り漂う登米～みやぎの明治村～

明治の貴重な建造物と調和したまちづくりにより創出された「みやぎの明治村」。登米には、国の重要文化財に指定されている教育資料館等貴重な建造物が数多く残されている他、一般住宅にも江戸～明治期の住宅が多く存在。

それらを保存し、活かすまちづくりを目指し、学識者や地元住民・登米町が協議会を発足。産官民一体となった取り組みにより、明治の香り漂う観光エリアを創出し、多くの観光客を集客。

県営登米前舟橋住宅

学校給食体験教室

学校給食体験教室

明治21年に建てられた「旧登米高等尋常小学校」の校舎を利用して、平成16年から「学校給食体験」を開始。

コッペパン、鯨の竜田揚げ、カレーシチューなど、来訪者は懐かしい昭和30年代のメニューを体験することが可能。

森舞台における薪能

宮城県無形民俗文化財に指定されている登米薪能は、仙台伊達藩で演じられていた金春大蔵流(後に大倉流)を登米伊達家が取り入れたもの。登米能を今に伝えるのは町内外の住民の幅広い年代層で構成するアマチュアグループ。

能楽を通じて人づくりを行い、登米秋まつり(9月)の宵祭りの日、森舞台で薪能として演能し、町の活性化に寄与。

登米薪能

遠山之里

遠山之里

みやぎの明治村、旧登米町の観光拠点として平成12年に総合施設「遠山之里」をオープン。

登米のあぶら麩や登米味噌等の地域ならではの品を販売する他、とよま物産協会が、登米町内に住む主婦を中心に、会社員や教員退職者等による、街の歴史建造物をガイドするサービスを実施。

問い合わせ先

○宮城県登米市産業経済部商工観光課
Tel：0220-34-2734　http://www.city.tome.miyagi.jp
○株式会社　とよま振興公社
Tel：0220-52-5566　http://www.toyoma.on.arena.ne.jp